

今号の記事

<2・3面>東日本大震災への医療支援／新連載「笑顔つながる認知症ケア」／小島あかね医師紹介／身近に考えたいメンタルヘルス／吉田病院整備事業2011第2期工事が始まりました／クッキング／診療案内
<4面>「生きる力と向きあって」

へいわと健康

だれでも、いつでもかかれる、安心・安全の医療をめざして



平和会吉田病院

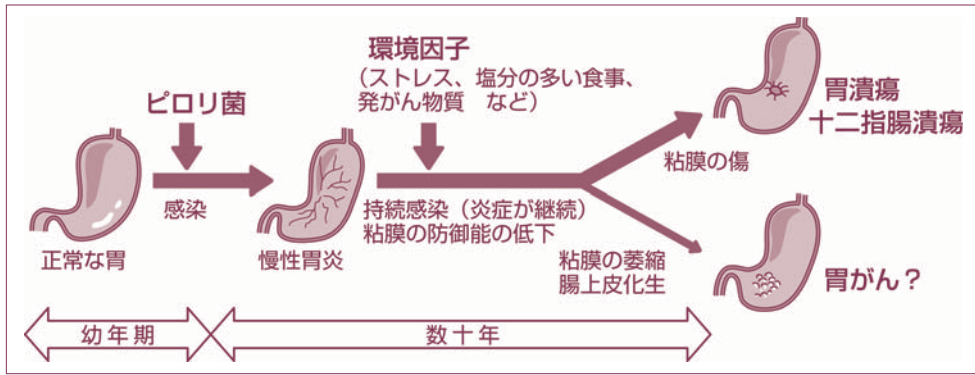
〒631-0818 奈良市西大寺赤田町1-7-1

医療法人平和会吉田病院 法人事務局

発行責任者 常務理事 田中義夫

☎(0742)45-4601(内線216)FAX(0742)45-5085

http://www.heiwakai.or.jp/



血液検査でわかる『胃の健康度』

《1年間の胃がん発生率と、推奨される内視鏡(胃カメラ)の間隔》

ABC検診結果		血清ピロリ菌抗体価	
		(-)	(+)
ペプシノゲン法	(-)	A群(胃がんリスクはほぼ0) 5年後に胃がんリスク検診を	B群(1000人に1人の胃がんリスク) 3年に1回胃カメラを
	(+)	D群(80人に1人の胃がんリスク) 1年に1回胃カメラを	C群(400人に1人の胃がんリスク) 2年に1回胃カメラを

次の2項目を測定して、その結果を組み合わせ判定します。

①ペプシノゲン法…胃の粘膜がどれ位萎縮しているかをみる検査です。

②血清ピロリ菌抗体価…ピロリ菌に感染しているかをみる検査です。

※最もリスクの高いD群では、胃粘膜の萎縮が進みピロリ菌が住めなくなっています。

友の会価格 1440円

一般価格 2140円

のところ

2011年度はキャンペーン価格で
どなたでも1300円です!!

「友の会だより」でもお伝えしていますが、平和会健康友の会と岡谷医療互助組合の奈良市への「要望書」運動の結果、奈良市国保の特定健康診査や大腸がん検診の自己負担額を大幅に引き下げるといって、画期的な成果がありました。ヒブワクチンや子宮頸がん予防ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンも自己負担軽減を勝ち取りました。特定健診の貧困な検査への追加項目も、不十分なが市民の要求を組み入れました。

奈良市特定健康診査

	平成22年度まで	平成23年度から
市民税課税世帯	2000円	1000円
市民税非課税世帯	1000円	無料
追加検査項目		尿酸 随時血糖

奈良市大腸がん検診

	平成22年度まで	平成23年度から
市民税課税世帯	1000円	1000円
市民税非課税世帯	500円	無料

23年度奈良市ワクチン接種に関する改善点

	平成22年度まで	平成23年度から	対 象
ヒブワクチン	1回につき3000円の補助	1回につき800円の自己負担	生後2ヶ月以上5歳未満の乳幼児
子宮頸がん予防ワクチン	全額自己負担	1回につき1500円の自己負担	中学1年生から3年生
小児用肺炎球菌ワクチン	全額自己負担	1回につき1100円の自己負担	生後2ヶ月以上5歳未満の乳幼児

平成23年度奈良市生活保護世帯の健康診査受診券について

★申請手続き廃止、受診券郵送の予定

発を止めよう！

自己負担が減り、健診を受けやすくなったことを早く、多くの市民にお知らせすることが大切です。また、十分な検査項目を補う

自己負担が減り、健診を受けやすくなったことを早く、多くの市民にお知らせすることが大切です。また、十分な検査項目を補う

今年から
減額します！
奈良市の特定健診の自己負担が
年1回、かならず健診を受けましょう

☆あくまでも「検診」です。腹中や胃もたれ、食欲低下、体重減少などの症状のある方や、ご心配な方は内科診察を受けて下さい。

リ菌感染の有無がわかり、将来の発がん予防につながるという意味でも「胃がんリスク検診」は有用な検診法です。

血液検査によるリスク診断とピロリ菌除菌による発がん予防

最新の胃がん診療

吉田病院
内科診療部長
齋藤 昌宏



「胃がんリスク検診」

胃がんの発症にはピロリ菌感染とそれに伴う慢性胃炎の進行度が強く関与しています。このことを利用した

は、その人の胃がんのリスクを血液検査という簡便な方法で判定することが出来ます。これ

までの胃がん検診は一律に全員が毎年レントゲン検査を受けるよう推奨されてきました。最近ではあらかじめ血液検査でリスクを判定し、リスクの高い人には内視鏡検査を勧め、リスクの低い人にはそれ以上の検査を勧め

め、リスクの低い人にはそれ以上の検査を勧め

は、その人の胃がんのリスクを血液検査という簡便な方法で判定することが出来ます。これ

までの胃がん検診は一律に全員が毎年レントゲン検査を受けるよう推奨されてきました。最近ではあらかじめ血液検査でリスクを判定し、リスクの高い人には内視鏡検査を勧め、リスクの低い人にはそれ以上の検査を勧め

『医師・医学生を紹介をお願いします』

医療法人平和会では、現在の医療活動を維持し発展させるため、医師・医学生の後継者対策に取り組んでいます。近年では、医師後期研修の受け入れや、女性医師の受け入れ、医学生の実習受け入れなど様々な取り組みを行っています。

身近に医師や、医学生のお知り合いがいらっしゃいましたら、ご連絡いただきたいと思います。地域医療や診療所医療、在宅医療、精神科医療に関心のある方なら大歓迎です。

お問い合わせ先 吉田病院 医局事務課

2012年4月精神科病棟リニューアル

看護職員募集(看護師・准看護師)

あなたのお力をお貸しください！

医療法人平和会 吉田病院 (312床)

診療所6ヶ所 訪問看護3ヶ所 その他

奨学金制度あり・看護部長室(内線260)まで

へいわの丘

大地震から1ヶ月経った。徹底的に破壊した大津波とその被害をより深刻化した原発事故、まさに天災人災3重複合大災害であり、混乱は未だに続き復旧の目処も立っていない。▼地震と津波は史上最大級の天災だが、原発事故は最悪かどうかわからない。歴史はまだ50年しかない。今後の放射能被害の序章なのかもしれないのだ。▼冷却に苦労した使用済み燃料や廃物となる原発自体の放射能はそう簡単に消えない。今回まだ公表されていないが半減期が数万年以上の永久放射性物質をも含んでいるので、環境に放出される

と直接または食品を通じて健康を破壊するため、人が住めない地域は拡大の一途となる。放射性廃棄物にとって50年は瞬間にすぎない。原発が稼働する限り放射性廃棄物は増産され続け、漏らせない永遠の管理を子孫は義務づけられる事になる。▼今回の原発事故で十数万人が地震や津波の被害者を全て放置したまま故郷を捨てて避難を余儀なくされた。この未曾有の惨事を経験した日本人は、自分達さえよければ、という考えには未来はない事を学んだのではないか。子孫の為に原発をやめよう！